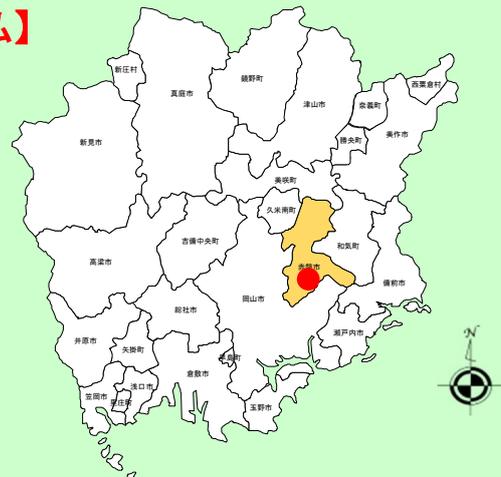


令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（岡山県）

【多面的機能支払】

ほさき あかいわし
「穂崎地域資源保全会」（赤磐市）

- (1) 認定農用地面積：40.24ha
（田：39.85ha、畑：0.39ha）
- (2) 組織構成：
1集落（農家31戸、非農家34戸）
開水路：14.1km、農道：7.5km
ため池：9箇所



【組織の概要】

本組織は、平成26年度から多面的機能支払交付金に取り組んでいます。

担い手農家を中心に、地域住民等非農家と連携して地域が一体となって活動を行っており、景観形成として農道にコスモスを植え、水田の貯留機能向上として田んぼダムに取り組んでいます。

【主な取組内容】

○地域住民が一体となって取り組む共同活動

本組織では、非農家が40名ほど活動に参加しています。地域イベントとして行う「一斉奉仕作業」での景観形成活動や、地域内にある、旧字別に分けた8区がそれぞれで実施する農地維持活動があり、体力などを考慮した作業の割当を行うことで、様々な年齢層が参加できるようにしている部分も「地域ぐるみ」といえます。

また、地域ぐるみの共同活動を行うために、次世代の育成は「重機」がポイントと考えています。「苦痛な草刈り作業」でも、若い世代に重機を使った草刈りを体験させることで、達成感が感じられる「レジャー」（娯楽）として取り組んでいます。

○田んぼダムの取組、地域の防災力を強化

平成30年7月の西日本豪雨で、河川の堤防が決壊したことを契機に取り組むこととなりました。当時、市の担当者から「田んぼダム」の取組について説明があり、当地域は河川の上流に位置していることから、この取組で被害に遭った下流地域のためにできることとして、防災減災に繋がればと皆が賛同し取組に至りました。さらに、各地区に一人は必要と防災士を取得した者が13名おり、防災意識がとても高い地域です。



田んぼダムの取組



農道にコスモスを植栽



重機を使った水路の泥上げ